

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くろべ



町って、
チームなのかも。

特集「支援者が支援しやすい環境をつくる
ーテクノロジーも活かした見守りの形ー」

2021
4
April

スマイルワーカー朝倉陽子さんのお話 | ボランティア活動保険のご案内 | 大雪に備えた体制づくりのために

【編集・発行】 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 令和3年4月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。
自宅での検温、来館時にはマスクの着用をお願いいたします。

うなづき 黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820

2021
4 | 介護予防通所事業
生き生き倶楽部

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----------------|----------------|-------------|----------------|-------------|-----|
| 28 | 29 | 30 | 31 | 1 レクリエーション | 2 | 3 |
| 4 | 5 レクリエーション | 6 レクリエーション | 7 | 8 レクリエーション | 9 | 10 |
| 11 | 12 自力整体 | 13 健康体操B | 14 | 15 レクリエーション | 16 健康体操A | 17 |
| 18 | 19 バスハイク | 20 バスハイク | 21 | 22 バスハイク | 23 | 24 |
| 25 | 26 レクリエーション | 27 レクリエーション | 28 健康体操B | 29 昭和の日 | 30 自力整体 | 5/1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |

時間/10:00~11:00 対象/65歳以上の方 ■ は休館日
参加費/150円(入館料のみ)

健康体操A 石田 みどり 先生 **健康体操B** 村田 あゆみ 先生
自力整体 稲田 清美 先生

※新型コロナウイルス感染予防のため、事前にお申込みください。
申込み先/(0765)65-1820 徳光

くろべ 黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

2021
4 | 介護予防のための
元気はつらつ体操教室

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|------------|--------------|-------------|-------------|-----|
| 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 フレイル体操 | 3 |
| 4 | 5 | 6 健康体操 | 7 健康体操 | 8 フレイル体操 | 9 健康体操 | 10 |
| 11 | 12 | 13 脳トレ | 14 自力整体 | 15 健康体操 | 16 自力整体 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 フレイル体操 | 22 音楽療法 | 23 音楽療法 | 24 |
| 25 | 26 | 27 音楽療法 | 28 音楽療法 | 29 昭和の日 | 30 | 5/1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |

時間/10:00~11:00 対象/65歳以上の方 ■ は休館日
参加費/300円(入館料のみ)

健康体操 牧野 和子 先生 **音楽療法** 岡島 聡子 先生
自力整体 稲田 清美 先生 **脳トレ** くろべ脳トレクラブ
フレイル体操 小森 亜希子 先生

読んで効く
健康
ミニコラム

普段の生活に運動×脳トレを取り入れてみましょう

適度に身体を動かしながら何か考えることは、
認知症の予防に効果的です。
無理のない程度に運動と脳トレを実施してみま
しょう。

例えば、会話しながら散歩する。
足踏みをしながら計算やしりとりを行う。
歌いながら指体操をすることもおすすめです。



今月の表紙

子どもたちに寄り添って歩く防犯パトロール隊は、
学校の先生や保護者にとっても頼もしい存在で
す。安全に下校できるように子どもたちを見守る優
しさと隊員の団結力が伝わってきます。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています

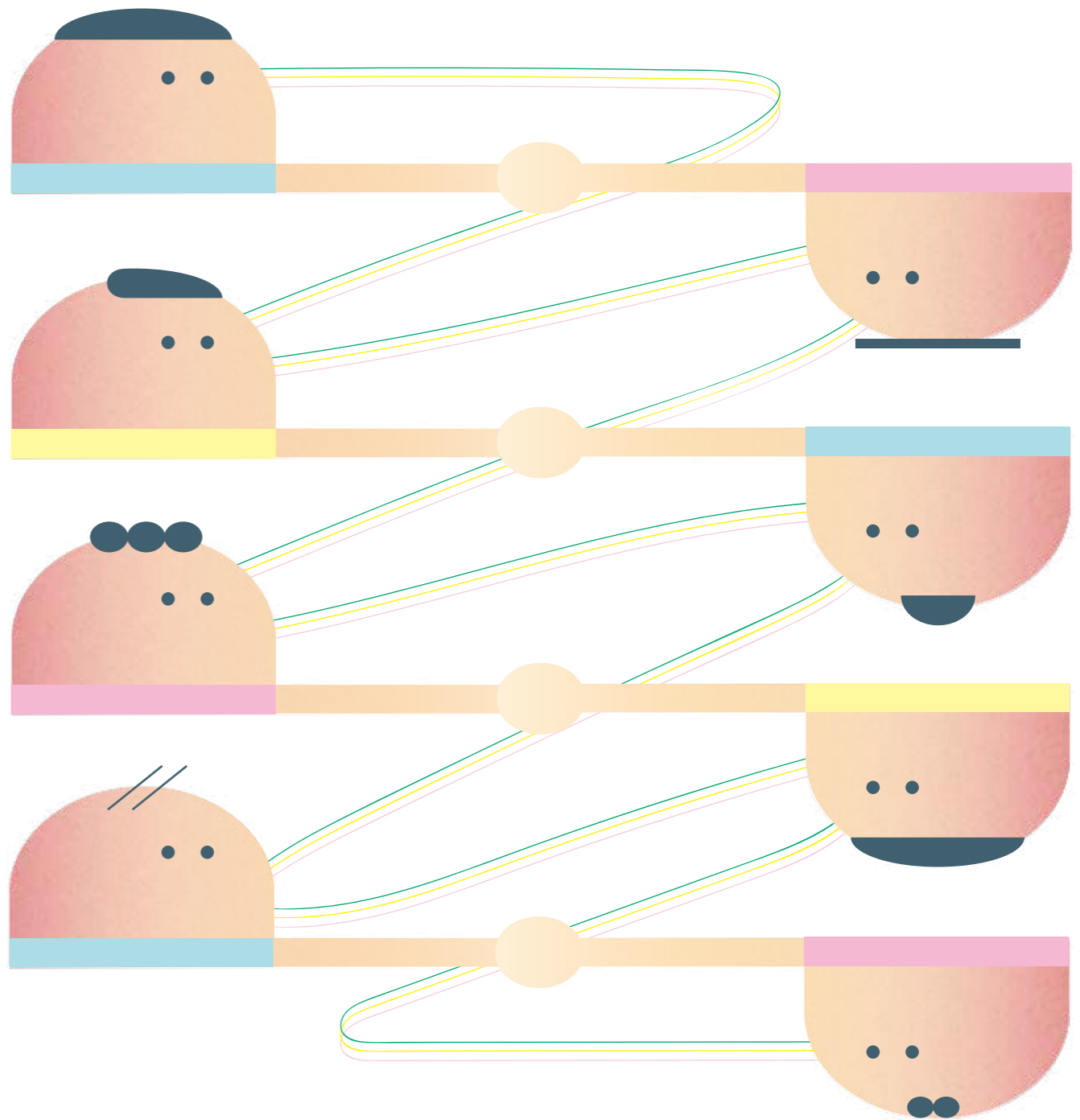


ちよこつと情報 [黒部市の人口] 40,732人 [65歳以上の人口] 12,847人 高齢化率 31.5% R3.2.28 現在

支援者が 支援しやすい 環境をつくる

テクノロジーも活かした
見守りの形

黒部市内16地区では、地域での包括的な見守り体制として「くろベネット」が導入されています。黒部市社会福祉協議会(以下、市社協という)では、令和元年度から地域での支え合い活動に^{※2}ICTの力を活かす試みとして、くろベネット対象者や支援者の自宅にICTの機器を設置する実証実験を行っています。今回は、人と人とのつながりやICTの利活用から、要支援者、支援者の方の負担にならずに安心できる見守りの形を考えていきます。



地域・企業・専門職で受け止める

市社協では、長年続いてきた近隣住民で行う見守りと地元企業が協力する見守り活動を一元化した「くろベネット」事業を平成30年からスタートしています。地域や企業にはこれまで通りの活動を続けてもらい、新たに医療・保健・福祉の専門職を地域とつなげることを目指し進めています。住民だけでは解決できない問題に対して地域と専門職が連携して、どう支援していくか話し合う場をつくり、役割分担をしていくことで困りごとが解決に向かっていきます。

また、くろベネットに企業登録されている企業以外のコンビニや金融機関などからも気になる世帯や心配な人の情報や相談が入ってくるようになりました。くろベネットの強みは、見守り活動だけではなく、制度の狭間に埋もれている人を地域も企業も専門職も一体になって受け止められることです。しかし、近年では複雑な課題を持つ世帯の増加や支援者の担い手不足が課題となっています。そこで市社協では、地域の支え合いにICTの活用を試みる取り組みを始めました。

使って理解してもらおう

令和元年度はひとり暮らし高齢者などの40世帯に機器を設置して、くろベネットとICTの力でどれだけ地域のつながりをつくれるか実験しました。高齢者にとってICTがどれだけより役立つものになるかを重要視していましたが、実験を行っていく中で支援者にも機器について理解してもらう必要があると気づきました。そして令和2年度には、どんな人に必要なのか、どんな機能やサービスがあると良いのか把握するために支援者に機器を触ってもらう実験をしました。

令和元年度の実験では、機器の一日の平均利用率は78%となり様々な声が集まりました。要

支援者からは「初めは面倒だったけど、なくなったら寂しかった」、「ゴミ出しの日を覚えてもらえてよかった」、「今の自分には必要ないが、将来的にこのような見守りも必要なのではないか」などの前向きな意見がありました。その一方で、まだ必要としない人がいることもわかりました。支援者からは、「支援者が少しずつ少なくなってきたら現状を踏まえてICTは必要だと思う」、「支援者の立場からしても、対象者がボタンを押してくれることで安心感を得られる」などの意見があり、実験に関わった95%の支援者がICTを必要と感じていました。

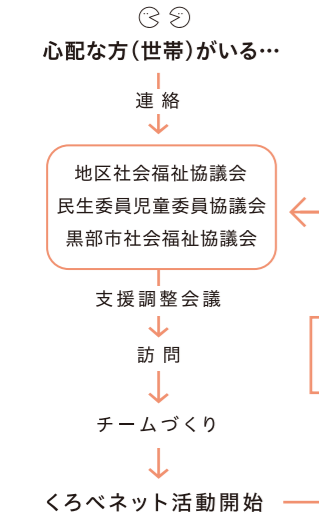


ボタンが押されたことを確認する職員

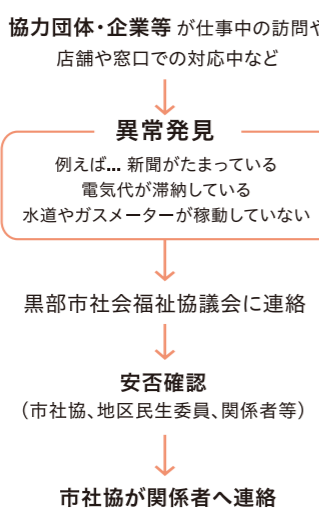


機器にカードをかざしてボタンを押します

くろベネット(地域版)の動き



くろベネット(企業版)の動き



活動レポート | 2月13日(土)愛本地区周辺

愛本地区一斉雪かきDAYが開催されました
大雪に備えた体制づくりのために

2月13日(土)愛本地区にて、除雪活動が困難な世帯や支援が必要な場所に対して雪かきを行う、「一斉雪かきDAY」が開催されました。この活動は地域と企業、ボランティアなどが協力して除雪活動を行う体制づくりを目的とし、当日は約50名の参加者が高齢者宅の雪かきを行いました。1月の大雪が残っている家も多く、「ありがとう。助かりました」と大変感謝されました。

また、雪害時に備えて災害ボランティアセンター立上訓練も行いました。愛本地区の町内会長、区長、総代の方々がボランティア受付、ニーズとボランティアのマッチングなどの役割を模擬体験し、ボランティアの受け入れ体制について確認しました。



黒部青年会議所メンバーにも参加協力いただきました

写真レポート



手洗い勉強会で感染予防の意識を高める

2月19日(金) / 前沢公民館

専用クリームをすりこませた後にいつものように手を洗い、紫外線を当てて洗い残しがないかチェックしました。青く光った汚れが爪や手のひらに残っていると、参加者の皆さんは「きれいに洗えたと思ったのに!」と驚いていました。感染予防のために時間をかけて丁寧に手を洗いましょう。

写真レポート



疫病退散の願いを込めて作る

3月1日(月) / 黒部市福祉センター

小物づくり教室が開催され、17名の参加者がカラー軍手でアマビエのお守り人形を作りました。アマビエは江戸時代から伝わる妖怪で、その姿を描き写すことで、疫病の流行を防ぐご利益があるといわれています。高島真実子先生から教わったり参加者同士で教え合ったりして細かい作業も楽しくできました。



ボタンの設置協力者による意見交換会の様子

役割分担と支援の積み重ね

見守り体制が一元化されて3年が経ち、企業の協力や専門職の理解も増え、住民の皆さんにもくろベネットが認識されつつあります。「私たちに寄せられる相談をきっかけに新たな支え合いのつながりが生まれ、一つひとつの相談を大事にすることが国の考える^{※3}地域共生社会の

「くろベネットを通じて協力してくださる住民も増えて、どの地区も地域力が上がったと感じています。そして、ICTの活用を考える中で、市内の企業や団体との新しい出会いもあり、『見守り』をキーワードにどのように連携していけるか、お互いにできることを話し合う場を設けることができました」と市社協くろベネット事業担当の佐渡光(さどひかる)さんは話します。

ICTは一つの手段

くろベネットは、対象者にとっても支援者にとっても安心して暮らせることが根源にあります。

これまでは支援者側が相手を気にかける見守りになりがちでしたが、これからは要支援者が元気であると自ら発信できる参加型の見守りも大事になってきます。要支援者から発信することで、「自分も地域と繋がっている」と感じることができ、支援者側の負担も軽減されます。

またICTの活用によって、支援者側の高齢化による担い手不足の不安を和らげることもできます。しかし、ボタンを押ししたり機器から音声を発信したりできても、コミュニケーションは人と人とのつながりでしか養えないものです。人と人とのつながりは私たちの生活には欠かせないものであり、まずはしっかりと近隣住民で

原点だと思えます。専門職がしっかりと関わる必要もあれば、住民だからこそできることもあります。一人で抱え込まずに役割分担をし、支援を重ねていくことで地域共生社会の実現が可能になるのではないかと思っています」と市社協共生推進係の濱松一美(はままつかずみ)さんは話します。

担い手を見つけることが大切です。

人々の力で支えられない部分を補うものとしてICTを活用し、地域の力とICTの力を組み合わせて支援者が支援しやすい環境をつくることと、要支援者が地域とつながりやすくすることがこれからの見守りに必要になってくると思います。

今年度は実証実験の最終年(3年目)であり、事業化に向けての検証等を行って行く予定です。市社協では、地域、企業、専門職と連携をとりながらくろベネットを進め、誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくりを目指します。

※1 くろベネット：小地域(黒部市は16地区)を単位として、福祉課題を持つ世帯に対し、地域の人ができる見守りや話し相手などの支援活動を通じて、住民の相互の支え合いをつくることにも、医療・保健・福祉など生活を支える関係者ともネットワークを図ることで、だれもが安心して生活できる地域づくりを進めようとする活動のこと。

※2 ICT(インフォメーション&コミュニケーションテクノロジー)：情報通信技術の略。パソコンやスマートフォン、スマートスピーカーなど、様々な形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。

※3 地域共生社会：制度・分野ごとの「縦割り」や「受け手」関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をもとに創っていく社会。

黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/9:30~16:00 入浴/10:30~15:30
※休憩時間、入浴時間が短縮になっております。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。

4月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)
祝日の翌日のため30日は休館日です。

5月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日・31日)
祝日の翌日のため4日、5日は休館日です。

ポールウォーキング

金曜日(9日・23日)

※開催場所は石田交流プラザとなります。
住所:黒部市岡165-1(現地集合)

囲碁・将棋クラブ、元気カラオケクラブにつきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月は開催を中止とさせていただきます。



誕生日のお祝いに福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り・・・3,000円

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に寄付をいただきました
ありがとうございました

JAくろべ女性部 様

JAくろべ女性部の皆さまより「愛の米一握り運動」として、「市内で生活に困っている方に役立ててほしい」と、黒部市社会福祉協議会へ玄米90kg、タオル200本の寄付をいただきました。



今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1) 行政相談員が同席
4月13日(火) 13:30~15:30 / 予約不要

弁護士と法律相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月20日(火) 13:30~15:30 / 予約受付4月1日より※先着4名
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月12日(月) 10:00~11:30 / 予約受付4月1日より

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、相談員の変更や中止となることがございますので、ご了承ください。

Q. お仕事への思いを教えてください。

利用者の皆さんには地元の話し言葉で声をかけていただき、何気ない会話も楽しませてもらっています。また、たくさんの方を教えていただき、自分の母や祖母と接するように関わらせていただけることを嬉しく感じます。
レクリエーションは週ごとに担当職員を決め、冊子やテレビからヒントを得ています。普段の生活ではあまり使わない筋肉を使うもの、漢字など頭を使うもの、手先を使うものを考え、楽しく参加できるよう工夫しています。
天然温泉に入浴できる施設なので「お風呂に入れて気持ち良かった」、「今日も楽しかった」と言っていたらとやりがいを感じます。

スマイル ワーカー



朝倉陽子さん
(あさくら ようこ)



医療法人社団 友愛病院会
黒部温泉デイサービスセンター
介護福祉士



好きな動物

犬

お知らせ

ボランティア活動保険のご案内

| | |
|-----------|--|
| プラン | 基本プラン 350円 天災・地震補償プラン 500円 |
| 補償期間 | 加入完了日の翌日から令和4年3月31日まで (※災害ボランティアセンターで活動の場合は、加入手続き完了後から補償開始) |
| 備考 | 災害ボランティア活動の参加は「天災・地震プラン」への加入をおすすめします。くろべボランティアセンターでは、上記の掛金に対し1人あたり50円の助成を行います。加入申込書に掛金を添えて事務局まで申し込みください。※加入申し込みの際にはボランティア登録が必要となります。詳しくは、お問い合わせください。 |
| 受付時間 | 月~金曜日の8時30分から17時まで (祝日・年末年始を除く) |
| 申込 問合せ | 黒部市社会福祉協議会 くろべボランティアセンター TEL.(0765)54-1082 / FAX.(0765)52-2797 |

お知らせ

黒部のまちを良くする活動の助成先を公募します 赤い羽根共同募金 助成申請説明会

令和4年度実施事業 赤い羽根共同募金助成申請団体の公募を行います。事前にお申込みの上、説明会には必ずご出席ください。



| | |
|--------|---|
| 開催日 | 4月5日(月)13:30~14:30 |
| 開催場所 | 黒部市福祉センター 大広間 |
| 対象団体 | 社会福祉法人・NPO法人・地域団体(自治会等)・福祉団体・ボランティア団体 |
| 対象事業 | 地域福祉が目的で、活動区域が黒部市の事業(令和4年4月1日~令和5年3月31日の期間内) ※他の補助金との重複や公的補填がある事業、また営利・経費目的である場合は対象となりません。 |
| 助成金 | 1団体10万円以内 ※団体の規模・事業内容により上限額を変更する場合があります。 |
| 申込・問合せ | 黒部市共同募金委員会 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082 FAX.(0765)52-2797 |